

マーケットの動き (2023年11月27日～12月1日)

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で下落（円高）しました。金融引き締めに積極的なFRB（米国連邦準備制度理事会）高官が早期利下げの可能性を示唆する発言をしたほか、FRBパウエル議長が今後の追加利上げに慎重な姿勢を示したことなどを背景に米国で利上げ終了および利下げ開始観測が広がり、米国長期金利が低下したことなどから円高・米ドル安が進む展開となりました。ユーロは前週末比、対円・対米ドルともに下落しました。

投資環境見通し (2023年11月)

円に対して米ドルはレンジ内での動き、ユーロは弱含む

米ドル：日米の景気や金融政策の違いは米ドルの上昇要因とみられますが、日本政府・日銀による円買い介入に対する根強い警戒感に加え、日銀の金融政策正常化を巡る材料も注目される中、米ドルは円に対してレンジ内で推移するとみています。

ユーロ：ユーロ圏長期金利に対する低下圧力を背景に、ユーロは円に対して弱含むとみています。また、日本政府・日銀による円買い介入が警戒される場面では、ユーロは円に対してさらに下押す可能性もあるとみています。

	12月1日	変動幅 (円)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	147.66	▲1.85	▲3.32	8.72	11.73
ユーロ/円	160.00	▲3.56	0.90	10.89	17.45

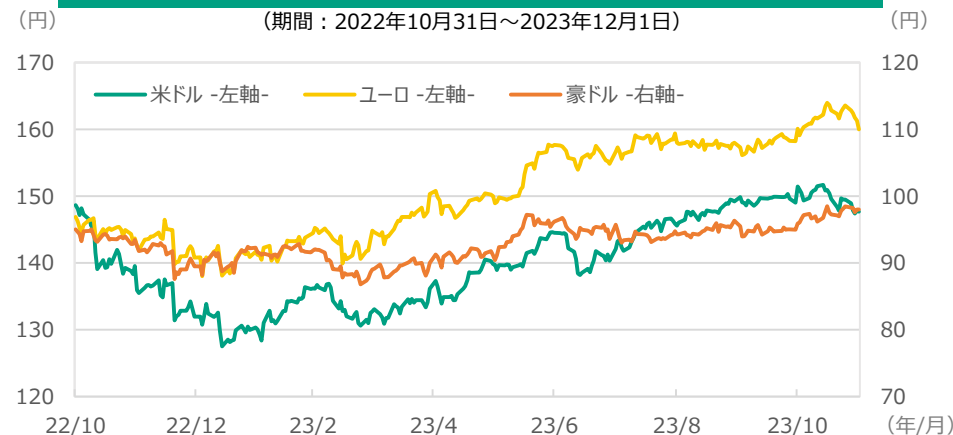
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

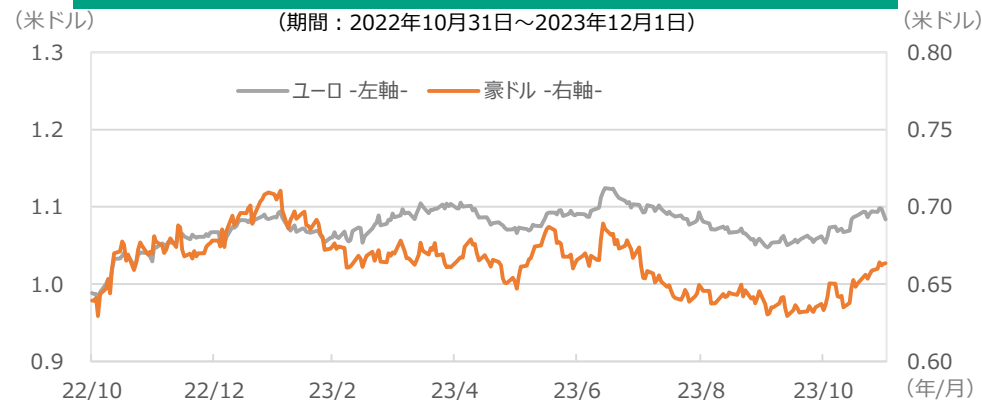
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202311_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移 (対日本円)



為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成